

送 辞

厳しかった今年の寒さも和らぎ、いつしか優しい陽射しが注ぐ季節になりました。一年間このときを待っていた桜が、今か今かと咲こうとしています。

3年生の皆様、本日は御卒業おめでとうございます。

この素晴らしき、良き日ですが、私たち在校生はお別れの寂しさを隠すことができません。

3年前、真新しい制服に身を包んだ先輩方は、中学校生活への期待や不安な気持ちで御入学されました。しかし、今では名実ともに南部中の顔となり、様々な場面で私たちをいつも導いてくれました。

生徒会活動では、「桜梅桃李」というスローガンのもと、様々な活動をしてこられました。先生にインタビューをした学習クイズ大会、いいところみつけ、校則の見直しなど、どの活動にも一生懸命に取り組み、私たちがそれぞれの「花」を咲かせるよう導いてくれました。

躍友祭では、太陽の陽射しよりも熱い、堂々とした、凜々しい姿を見せていただきました。一人一人がクラスのために全力を尽くし、クラスの絆の強さを感じました。勝って喜び、負けて涙を流されましたが、すべて終わった後はみんなが笑顔となりました。

緑友祭では、皆様の集中力の極みを見せていただきました。一瞬にしてその場の空気が変わり、うねるような旋律、そして圧倒的な声量。ホールいっぱいに美しいハーモニーが響きました。

部活動では、どの部も目標に向かって汗をかき、ときには涙を流すような厳しい練習に励まれていました。その結果、夏の大会では、多くの部活動で好成績を収められました。真っ黒に日焼けした顔、その笑顔が輝いていました。

思い返せば、私たちはどんなときも3年生の先輩方の背中を見て、中学校生活を送っていました。皆様は当たり前のように優しく、そして一生懸命でしたが、それは、最上級生という強い自覚と責任をもたれていたからだと思います。私たちも皆様を見習い、後輩たちのよき手本となれるように頑張ります。そして、このよき伝統を受け継ぎ、さらに活気ある南部中学校になるよう、努力してまいります。

皆様は、今日、このたくさんの思い出が詰まった南部中を御卒業されます。それぞれ御自身が選ばれた道に進まれますが、決して順風満帆な道ではないと思います。ときには辛くて逃げ出したくなることもあるかもしれません。そんなときは、ここで過ごした3年間の思い出してください。共に切磋琢磨し高めあった仲間たち、皆様に誇りに思う後輩たち、そして背中をそっと優しく押してくださった先生方。色あせることなく皆様の心の中にはいるはずです。

皆様の3年間で築き上げてきた成果も、きっと新しい道へ歩まれる糧となることでしょう。

最後になりましたが、皆様の御健康とますますの御活躍をお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和6年3月18日 在校生代表 村山 琉英